地球の恵みを、社会の望みに。

エア・ウォーター

2026年度 第2四半期業績
決算説明資料

2026年11月16日

エア・ウォーター株式会社
(証券コード:4088)

【将来に関する記述等についてのご注意】
- 本資料に掲載されている目標数値および将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。
- そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

【本資料における留意点について】
- 当社の財務情報は、IFRS（国際会計基準）に基づいて作成しております。

目次

1 2026年度 第2四半期業績

2 2026年度 通期業績見通し

3 2025年度 過年度修正影響

4 補足資料

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

1．2026年度 第2四半期業績

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

決算サマリー

(単位：億円)	2025年度 上期実績 (修正再表示)	2026年度 上期実績	増減 金額	増減 率	2026年度 通期予想 (修正予想)
売上収益	4,851	**5,605**	+754	+15.5%	**11,700**
事業利益（①）	330	**456**	+126	+38.3%	**827**
非経常要因（②）	▲405	**▲322**	+83	–	**▲487**
営業利益（①＋②）	▲75	**134**	+209	–	**340**
親会社所有者帰属利益	▲253	**17**	+270	–	**140**
事業利益率	6.8%	**8.1%**	+1.3%	–	**7.1%**
営業利益率	–	**2.4%**	–	–	**2.9%**
1株あたり配当	37.5円	**30.0円**	▲7.5円	–	**75.0円**

【個別指標の算式】
- 事業利益　：営業利益－非経常要因
- 非経常要因　：外部サポート費用、減損損失、カーブアウト影響、その他特殊損益

決算のポイント

➤ **事業利益** … P6：増減益要因 (事業要因)
事業利益は＋126億円の増益
事業要因とその他要因の両面あり

➤ **非経常要因** … P7：増減益要因 (非経常要因)
外部サポート費用は期初想定より増加
予想を上回るインフレ進行と市場金利上昇により減損損失を計上

➤ **事業状況** … P9：セグメント別業績
半導体関連が総じて好調に推移、全社業績を牽引
産業ガスをはじめとする価格マネジメントが進展し、業績を下支え

➤ **中東情勢影響** … P10：中東情勢影響
事業全般において電気料金・物流費等のコストアップ影響あり
ヘリウム等は市況のタイト化により、販売面が大幅に改善

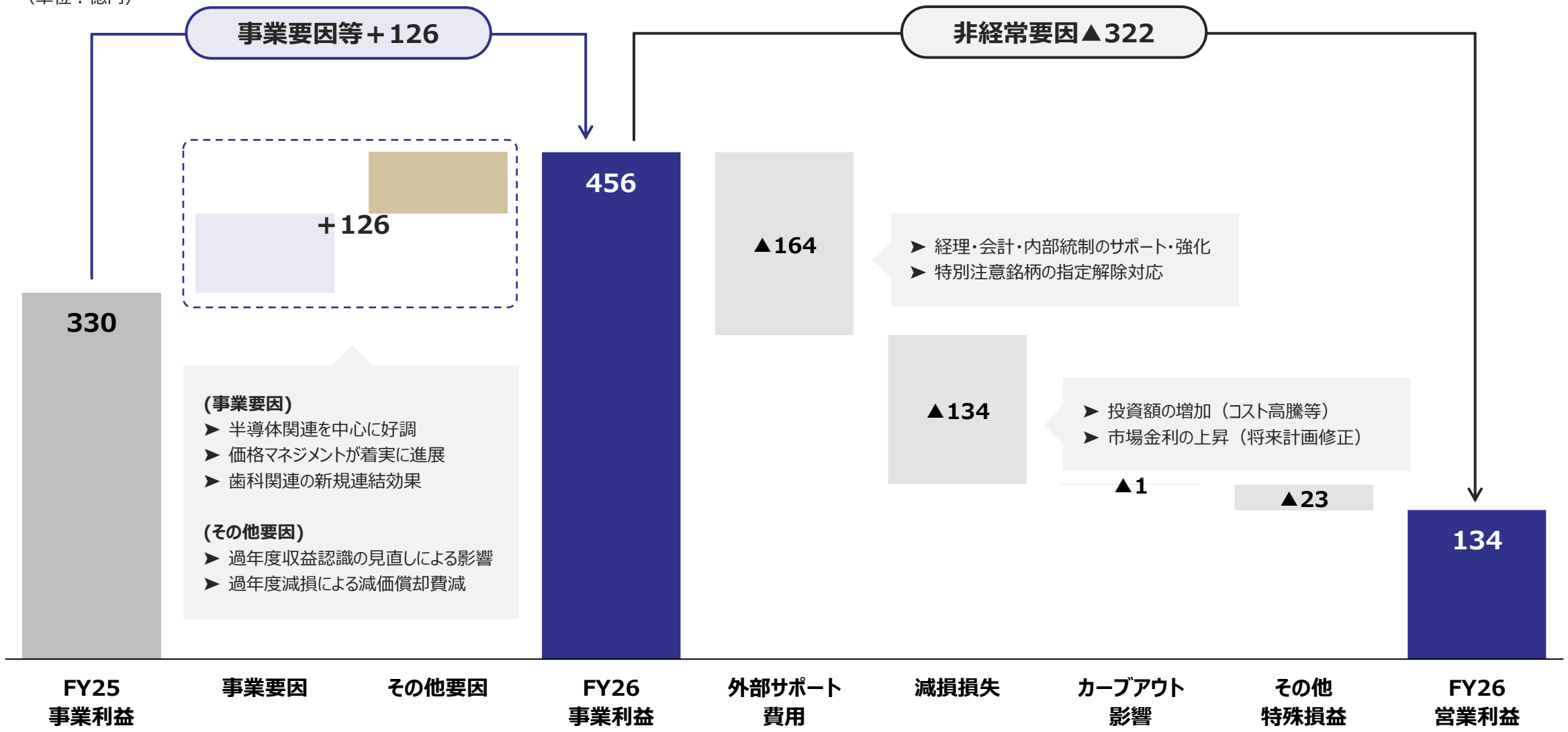
➤ **株主還元** … P15：配当予想
通期配当予想は1株あたり75円を維持（上期は30円）
中間期の業績、財務状況および分配可能額等を総合的に勘案

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

増減益要因

地球の恵みを、社会の望みに。
エア・ウォーター

（単位：億円）



© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

増減益要因（事業要因）

事業利益の増益額は、①事業要因／②その他要因の2つの構成要因を含む

FY26上期　事業利益　増益額／構成要因

上期増益額
＋126億円

①
事業要因

②
その他要因

（構成要因の考え方）

事業活動に伴う影響

・事業活動に伴う増減
- ・販売：販売増減、供給拡大・縮小、新規獲得・撤退、価格マネジメント
- ・原価：原価改善・悪化、償却費増減、コストアップ

・中東情勢影響に伴う増減
- ・市場価格が上昇したことで、既存在庫と販売価格との差益が拡大（LPガス、基礎化学品など）

過年度処理に伴う一過性影響

・過年度減損損失の計上等に伴う減価償却費の増減
- ・プラス作用　：固定資産の減損損失に伴う償却費減
- ・マイナス作用：資産除去債務の計上に伴う償却費増

・過年度収益認識の見直しに伴う増減
- ・工事進行基準上の会計年度の収益認識の見直しによる損益影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

増減益要因（非経常要因）

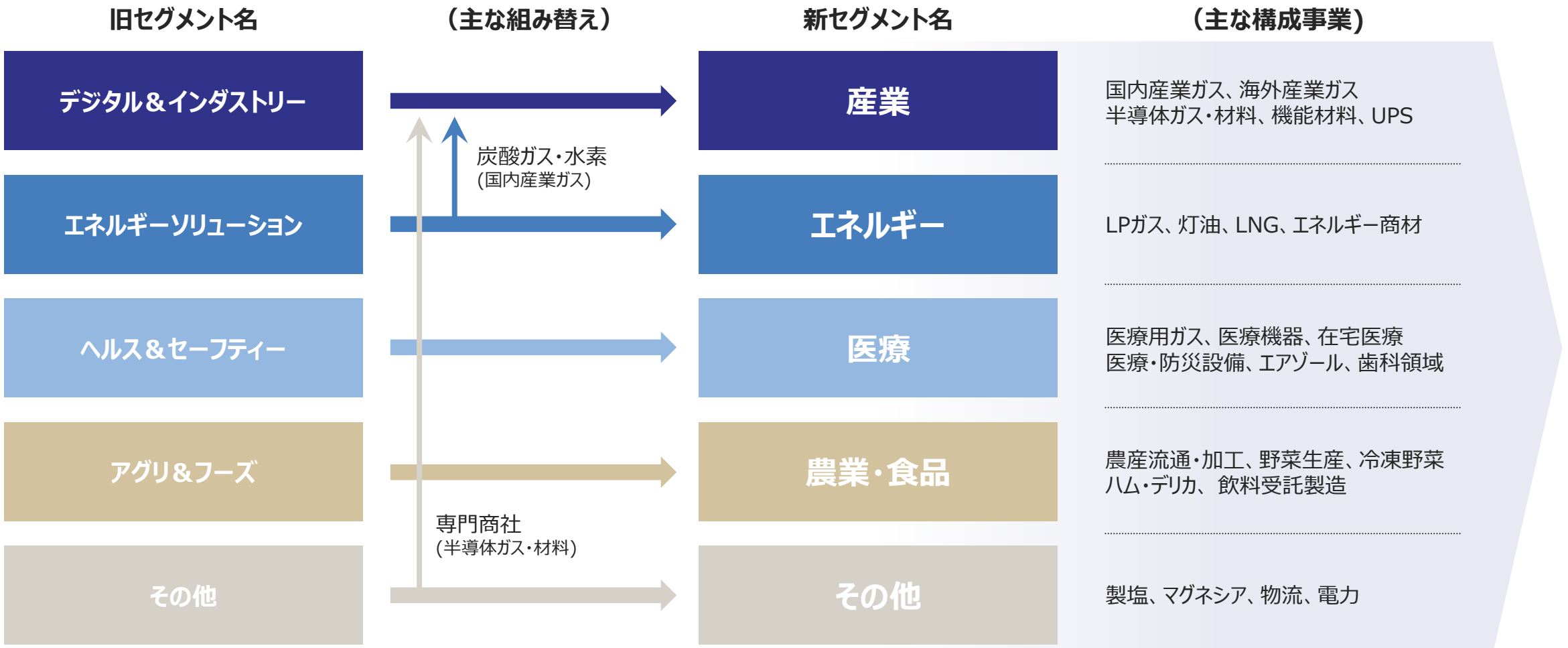
(単位：億円)	項目内容	2026年度 上期実績	主な発生要因
外部サポート費用	・会計自主点検対応 ・監査対応強化 ・特別注意銘柄指定の解除対応 ・特別調査委員会運営	**▲164**	経理・会計処理サポート・強化 内部統制サポート・強化 監査対応強化 リニエンシー対応 特別注意銘柄指定の解除対応(開始) 特別調査委員会運営(終了)
減損損失	・固定資産及びのれんの減損	**▲134**	**■投資額の増加** 北米産業ガス/固定資産(▲43)　※市況高騰等による工事費増 **■市場金利の上昇** デンタル関連/のれん(▲43)、海外医療設備/のれん他(▲17)、物流関連/のれん(▲9) 海外冷凍野菜/固定資産(▲5)、その他/のれん他(▲18)*1件あたり5億円未満
カーブアウト影響	・カーブアウト済み事業の損益影響	**▲1**	海外低温機器事業、スイーツ事業
その他特殊損益	・固定資産除売却損益 ・その他	**▲23**	確定拠出年金制度への移管影響等
		▲322	

※<u>外部サポート費用について</u>
今後、会計自主点検対応の一部は社内人件費に置き換わる見込（100名規模の増員を計画）

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメントの再整理

新組織体制に合わせて当第2四半期よりセグメント名を改称／一部事業について開示セグメントを組み替え



© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別業績

地球の恵みを、社会の望みに。
エアウォーター

(単位：億円)

	事業利益の推移（■2026年度／■2025年度）	増益額	前期比	主な増減要因
産業	 (45%) (51%)	+38	+22.3%	[＋] 半導体関連向けガス・材料・機器が総じて好調、価格マネジメントの効果寄与 [▲] 北米産業ガスのヘリウム仕入調達不足、非常用発電機の新規受注遅れ
エネルギー	 (5%) (4%)	+9	+68.4%	[＋] 中東情勢を背景としたCP価格の上昇に伴う、既存在庫の販売差益 [▲] LPガス・灯油の仕入調達価格アップ、住設関連商品の販売減
医療	 (23%) (17%)	+49	+88.6%	[＋] ガス消火設備関連が受注好調、デンタル関連の新規連結効果 [▲] 在宅酸素療法(HOT)のメンテナンス・製造・販売減、衛生用品の販売減
農業・食品	 (9%) (14%)	▲5	▲10.6%	[＋] ハム・デリカの販売強化・価格適正化、ブロッコリーの生産・販売増 [▲] 飲料受託製造の生産減、農業機械の販売不振、農産品の販売価格が苦戦
その他	 (15%) (14%)	+20	+42.7%	[＋] 食品・医療物流の取扱増・料金適正化、業務用塩の価格改定効果 [▲] 製塩・発電など設備・原材料コストの負担増、軽油代・労務費等のコストアップ
調整額	 (3%) (0%)	+16	–	
		+126	+38.3%	

■ **2026年度上期実績：456億円**
■ 2025年度上期実績 ： 330億円
*(　)内は利益構成比

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

中東情勢影響

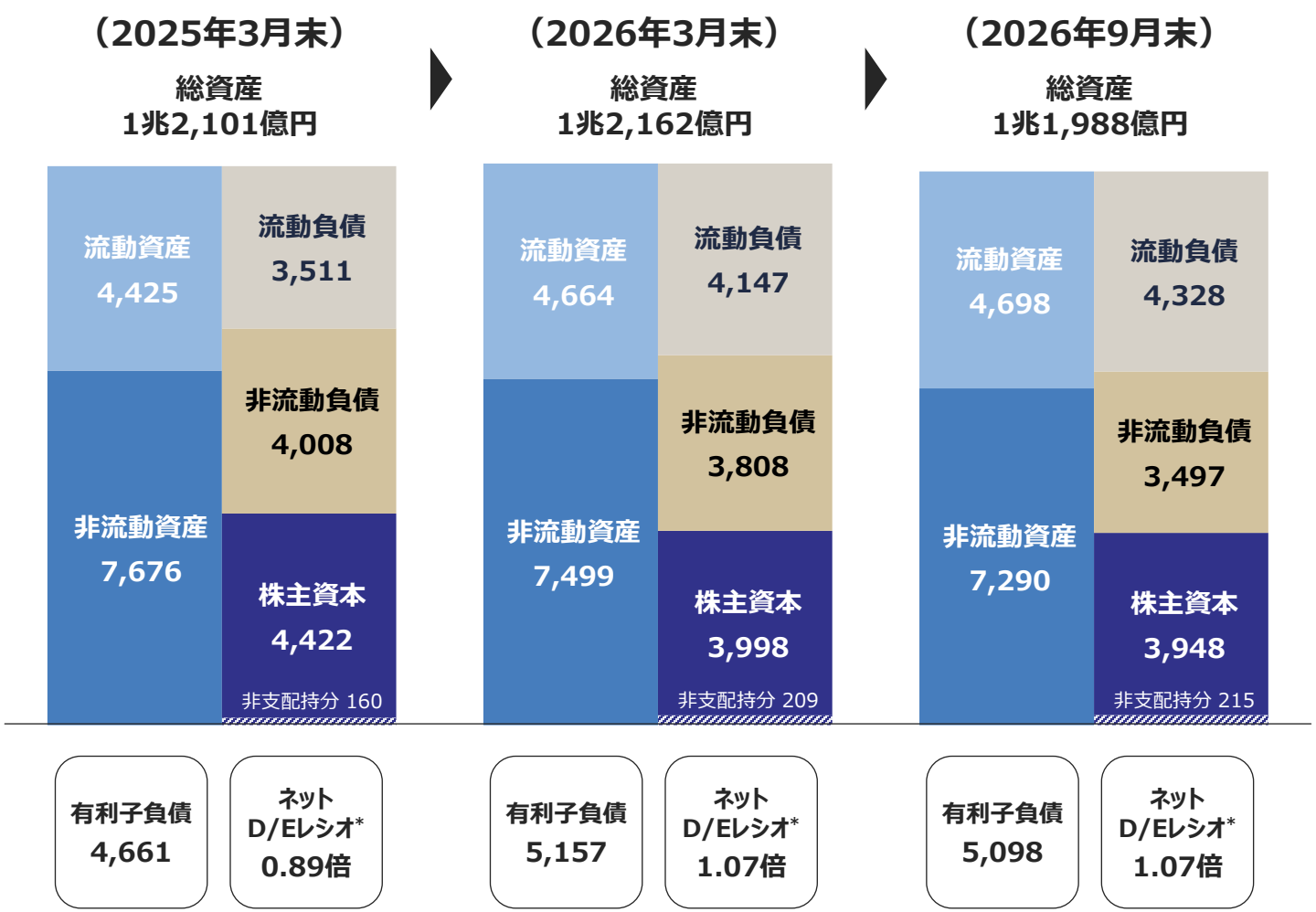
	損益影響（上期）	上期に発生した主な影響	下期以降に注視が必要な影響・リスク
産業	中立	[＋] 国内ヘリウム需給のタイト化による需要増、販売単価上昇 [▲] 原油価格の高騰による電気料金のコストアップ、北米ヘリウムの仕入不足による販売減	・国内産業ガス：電気料金等の上昇による製造原価の上昇 ・インド産業ガス：LPガス・LNGの不足・供給制約によるユーザー停滞 ・北米産業ガス：ヘリウム仕入不足による販売・新規獲得減速
エネルギー	中立	[＋] CP価格の急激な上昇に伴う、既存在庫の販売差益 [▲] LPガス・灯油の調達価格の大幅な上昇、これに伴う価格転嫁の一部遅れ	・LPガス：調達価格のさらなる上昇・乱高下 ・灯油：調達制約リスク、販売価格の上昇による消費需要減
医療	プラス	[＋] 歯科用品、エアゾール製品等の駆け込み需要による販売増 [▲] 特になし	・歯科・コンシューマ：仕入商品や原材料価格の上昇・乱高下
農業・食品	マイナス	[＋] 特になし [▲] 飲料、農産加工品、ハム・デリカなど、生産・販売にかかる資材・エネルギーコストの上昇	・資材・エネルギーコストのさらなる上昇・乱高下 （価格適正化による改善を上回るコストアップ）
その他	マイナス	[＋] 特になし [▲] 物流におけるトラック軽油代や、発電の燃料調達にかかる海上運賃コストの上昇	・軽油代、海上運賃コストのさらなる上昇・乱高下 （比重の高い構成原価におけるコストアップ）

- 上期：ヘリウムの販売回復やその他の駆け込み需要など、一時的な追い風要素もあり、全体としては中東情勢による業績へのネガティブ影響は限定的
- 下期：電気料金の上昇による産業ガス等の製造原価への影響のほか、LPガスなど燃料資源の不足・供給制約によるグループ内外への波及影響に注視が必要

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

連結バランスシート

（単位：億円）



*「ネット有利子負債」÷「親会社の所有者に帰属する持分」

主な増減要因（2026年3月末▶9月末）

➤ 非流動資産
のれん・固定資産の減少（減損損失の計上に伴う）
連結除外による減少（スイーツ事業の譲渡に伴う）

➤ 流動負債
営業債務の減少（未払い設備投資額・監査報酬等の支払い）
社債及び借入金の増加

➤ 非流動負債
社債及び借入金の減少

➤ 株主資本
剰余金の配当
当期純利益の計上

➤ 有利子負債／ネットD/Eレシオ
有利子負債は▲59億円の減少（2026年3月末比）
ネットD/Eレシオは横ばい（同上）

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

連結キャッシュ・フロー

(単位：億円)	2025年度 上期実績	2026年度 上期実績	増減	主な増減要因
① 営業キャッシュ・フロー	481	391	▲90	税前利益+289、減損損失▲248 営業債権・その他債権の増減▲144 営業債務・その他債務の増減+163 棚卸資産の増減▲89、その他▲61
② 投資キャッシュ・フロー	▲313	▲218	+95	有形固定資産の取得支出減少＋134 有形固定資産の売却による収入減少▲24 投資有価証券の売却による収入減少▲29、その他+14
③ 財務キャッシュ・フロー	▲259	▲151	+107	長期借入金返済支出減少＋128 社債償還による支出増加▲100 短期借入金の増加＋81、その他▲1
①＋② フリーキャッシュ・フロー	167	173	+6	－
現金及び現金同等物の 期末残高	638	886	+249	－

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

2．2026年度 通期業績見通し

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

通期業績見通し

(単位：億円)	2026年度 通期予想 (期初予想)	2026年度 通期予想 (修正予想)	増減 金額	増減 率	2025年度 通期実績 (修正再表示)
売上収益	11,400	**11,700**	+300	+2.6%	**10,668**
事業利益（①）	764	**827**	+63	+8.2%	**743**
非経常要因（②）	▲284	**▲487**	▲203	–	**▲1,112**
営業利益（①＋②）	480	**340**	▲140	▲29.2%	**▲369**
親会社所有者帰属利益	280	**140**	▲140	▲50.0%	**▲540**
事業利益率	6.7%	**7.1%**	+0.4%	–	**7.0%**
営業利益率	4.2%	**2.9%**	▲1.3%	–	**–**
1株あたり配当	未定	**75.0円**	–	–	**75.0円**

【個別指標の算式】
- 事業利益　：営業利益－非経常要因
- 非経常要因　：外部サポート費用、減損損失、カーブアウト影響、その他特殊損益

通期予想のポイント

➤ 事業利益
事業利益は半導体関連の牽引を予想も、
中東情勢ほかの影響を織り込み

➤ 非経常要因
外部サポート費用は期初想定から増加
事業ポートフォリオ改革に向けた取り組みも加速させていく

➤ 株主還元
通期配当予想は1株あたり75円を維持
安定配当を基本方針とした株主還元を継続

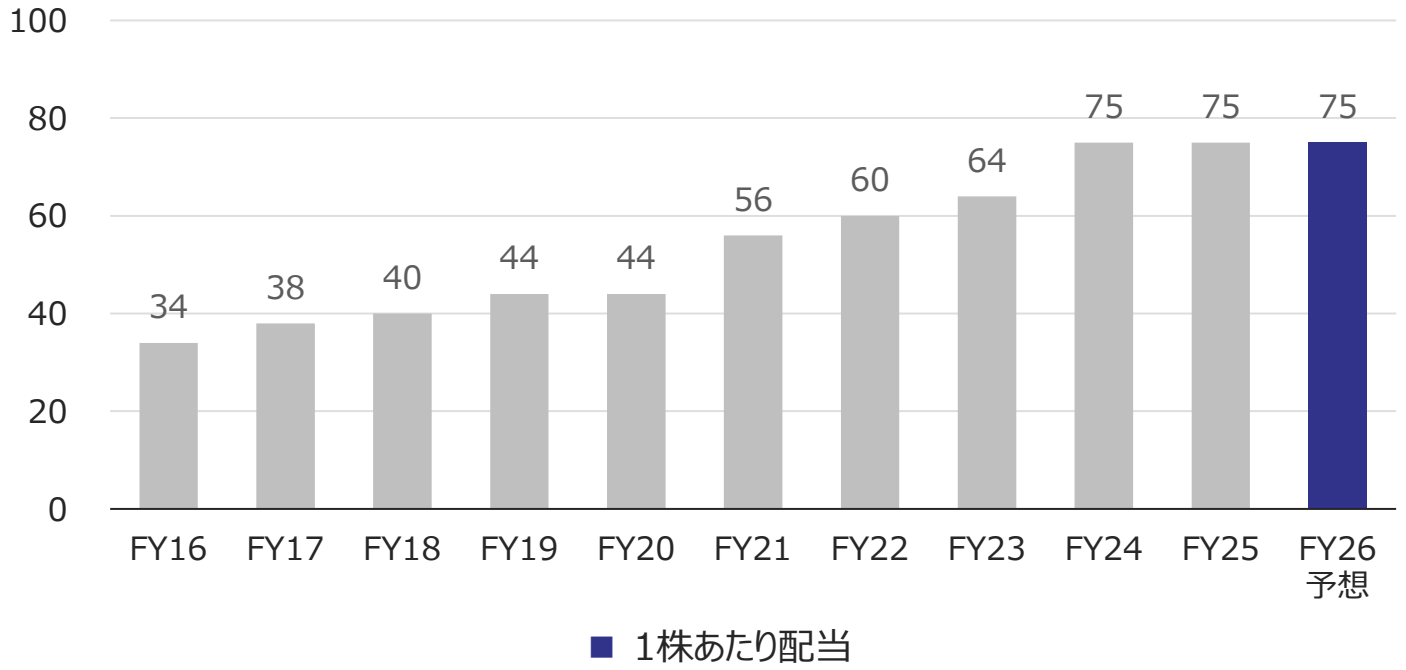
➤ 外部サポート費用
→2026年度想定：約305億円（期初見込差＋55億円）
①経理・会計・内部統制のサポート・強化
②監査対応強化
③特別注意銘柄指定の解除対応

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

配当予想

2026年度 配当予想		
	年間配当予想	**1株あたり75円** を維持（上期30円／下期45円）
	決定理由	中間期の業績、財務状況および分配可能額等を総合的に勘案

（単位：円）



配当方針

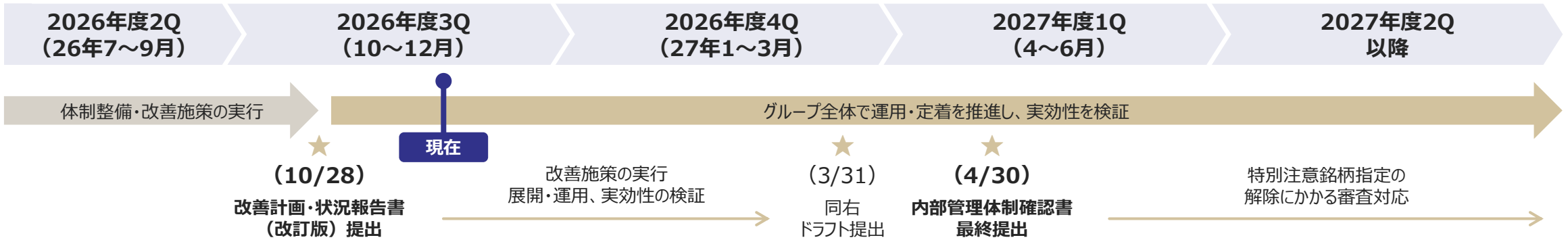
安定配当を維持

（経営の最重要課題の一つとして対応）

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

特別注意銘柄指定の解除に向けた進捗状況

2027年度中の特別注意銘柄指定の解除を目指す／再発防止策の実行を通して内部管理体制を強化



現状
・改善計画に掲げた各施策を順次実行
・2026年10月28日に改善計画・状況報告書を東証へ提出

今後の要点
・内部管理体制の展開と定着、改善施策の運用状況・実効性の検証
・確認書の提出後、指定解除に係る審査へ対応

再発防止策（4つの柱）	改善計画の主な実行内容	具体的な実行状況
（1）企業風土改革	・健全で風通しのよい企業風土への改革 ・過度な業績プレッシャーの排除 ・倫理・会計リテラシー教育の強化	・経営トップからの継続的なメッセージ発信、対話集会を順次実施 ・全役員・従業員を対象に、事案を題材とした再発防止教育を実施 ・内部通報制度の運用強化、外部窓口を整備
（2）ガバナンス改革	・取締役会・監査機能の強化 ・指名・報酬委員会の役割強化	・指名・報酬委員会は独立社外取締役を委員長とし、委員の過半数を独立社外取締役に変更 ・監査等委員会設置会社へ移行 (2026年9月22日) ・独立社外取締役が取締役会議長に就任
（3）経営管理基盤・内部統制の再構築	・子会社を含む内部統制・グループ会社管理の強化 ・経理部門を中心とした管理機能・予算管理プロセスの強化 ・内部監査・監査等委員会監査の強化	・財務・経理担当役員を設置 ・本社経理部門：14名増員31名体制(2026年度末40名体制) 内部監査部門：10名増員25名体制(2026年度末29名体制、2028年度末52名体制) ・三様監査を定例化し、外部専門家の知見を社内に蓄積
（4）全社戦略・事業ポートフォリオの見直し	・「量から質」への転換とコアコンピタンス起点の経営 ・戦略適合性、財務パフォーマンス、ガバナンスで全事業を総点検 ・強みが活きる事業への経営資源集中	・「経営改革の方向性」を公表 (2026年9月17日) ・産業ガス、医療、農業・食品をコア事業群に位置付け／事業間シナジーの創出と「稼ぐ力」の再構築を推進 ・青果市場卸事業2社、スイーツ事業2社の株式譲渡を実施済み 青果小売事業1社の株式譲渡について基本合意書の締結を発表 (2026年11月16日)

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

3．過年度修正影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

2025年度通期業績　訂正による増減

(単位：億円)	2025年度 訂正前	2025年度 訂正後	増減
売上収益	10,668	10,668	–
売上原価	▲8,265	▲8,285	▲20
売上総利益又は売上総損失（▲）	2,403	2,382	▲20
販売費及び一般管理費	▲2,015	▲2,073	▲58
その他の収益/費用	▲759	▲679	+81
営業利益又は営業損失（▲）	▲372	▲369	+2
金融収益/金融費用	▲143	▲143	–
税前利益又は税前損失（▲）	▲514	▲512	+2
法人所得税費用	▲148	▲49	+99
当期利益又は当期損失（▲）	▲663	▲562	+101
親会社の所有者に帰属する利益又は損失（▲）	▲639	▲540	+99

(単位：億円)	2025年度 訂正前	2025年度 訂正後	増減
流動資産	4,666	4,664	▲3
非流動資産	7,497	7,499	+2
資産合計	12,163	12,162	▲1
流動負債	4,246	4,147	▲99
非流動負債	3,807	3,808	+1
負債合計	8,053	7,955	▲98
株主資本	3,902	3,998	+96
非支配持分	207	209	+2
資本合計	4,110	4,207	+98
負債及び資本合計	12,163	12,162	▲1
有利子負債	5,157	5,157	–

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

４．補足資料

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別　詳細情報　産業

セグメント方針・戦略

1. 半導体・エレクトロニクス向け事業の強化
2. 海外産業ガス事業の拡大（インド・北米）
3. 価格マネジメントの徹底、コスト上昇分の機動的な転嫁

2026年度事業環境

- ➤ 生成AI向けの先端半導体は旺盛な需要が続く
- ➤ その他産業の市場動向は業種別に濃淡のある状況
- ➤ インド・北米は中東情勢影響あるも中長期的に成長期待

業績

*エネルギーセグメントから「炭酸ガス・水素」を移換済
その他セグメントから「専門商社」を移換済

(単位：億円)	2025年度上期実績 (修正再表示)	2026年度上期実績	増減 金額	増減 率
売上収益	1,942	**2,110**	+167	+8.6%
事業利益（①）	168	**206**	+38	+22.3%
事業利益率	8.7%	**9.8%**	+1.1%	–
減損損失	▲294	**▲50**	+244	–
カーブアウト影響	▲13	**▲1**	+12	–
その他特殊損益	▲10	**▲8**	+2	–
非経常要因（②）	▲317	**▲59**	+258	–
営業利益（①＋②）	▲149	**146**	+295	–
営業利益率	–	**6.9%**	–	–

増減要因

●産業ガス　■エレクトロニクス　★海外

	事業利益（①）主な要因・影響		
事業要因	[＋]	■熱制御装置	：半導体製造装置向け製品の販売増加
		■Oリング	：半導体製造装置向け製品の販売増加
		●産業ガス	：価格マネジメントの進展・効果
		■半導体ガス	：先端半導体向けガス・ケミカル・材料の供給拡大
		★インド産業ガス	：液化ガスの外販数量拡大
	[▲]	★北米産業ガス	：ヘリウムの調達不足、エンジニアリングの新規受注減
		★UPS	：DRUPSが受注好調も、非常用発電機が受注減
		●産業ガス	：電気料金の高騰による製造原価アップ
特殊要因	[＋]	■基礎化学品	：市場価格の変動に伴う、既存在庫の販売差益
会計要因		○特になし	

	非経常要因（②）主な要因・影響		
減損損失	[▲]	★北米産業ガス	：固定資産（建設中の自社プラントの投資額増加）
		★北米産業ガス	：のれん（市場金利の上昇影響）
CO影響	[＋]	★北米産業ガス	：低温機器の事業縮小・機能集約

*CO影響＝カーブアウト影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別　詳細情報　エネルギー

セグメント方針・戦略

1. LPガスへの燃転推進、商権買収による供給拡大
2. 価格マネジメントの徹底、仕入調達の安定維持
3. 低炭素・カーボンニュートラルへの対応拡大

2026年度 事業環境

- ➤ エネルギー環境は中東情勢影響で不透明感あり
- ➤ 北海道は人口減、住宅着工減など続く
- ➤ 再生可能エネルギー関連は導入機会が拡大傾向

業績

*「炭酸ガス・水素」を産業セグメントへ移換済

(単位：億円)	2025年度 上期実績 (修正再表示)	2026年度 上期実績	増減 金額	増減 率
売上収益	305	**330**	+25	+8.2%
事業利益（①）	12	**21**	+9	+68.4%
事業利益率	4.1%	**6.4%**	+2.3%	–
減損損失	▲23	**▲4**	+19	–
カーブアウト影響	0	**0**	–	–
その他特殊損益	▲0	**▲6**	▲5	–
非経常要因（②）	▲23	**▲9**	+14	–
営業利益（①＋②）	▲11	**11**	+22	–
営業利益率	–	**3.5%**	–	–

増減要因

●LPガス・灯油　■LNG・その他

	事業利益（①）主な要因・影響
事業要因	[＋] ●LPガス：家庭用の販売価格の適正化 ■LNG機器：LNGローリー・機器の販売拡大 ●機器工事：暖房機器等の販売拡大 [▲] ●LPガス・灯油：中東影響・為替影響による仕入調達価格の大幅上昇 ●住宅商材：エクステリア新製品、灯油関連商材の販売減
特殊要因	[＋] ●LPガス：市場価格の変動に伴う、既存在庫の販売差益
会計要因	○特になし

	非経常要因（②）主な要因・影響
減損損失	[▲] ●海外LPガス：のれん（市場金利の上昇影響）
CO影響	○特になし

*CO影響＝カーブアウト影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別　詳細情報　医療

セグメント方針・戦略

1. ガス消火、歯科材料など成長領域の強化・拡大
2. 在宅化需要が高まる領域での新市場開拓
3. 医療用ガス、医療設備など安定基盤の維持・拡充

2026年度 事業環境

- 医療業界は病院経営で厳しい業界環境が続く
- 歯科業界は高齢化需要とデジタル化進展が追い風
- 産業向けは電力関連施設やデータセンターが需要旺盛

業績

(単位：億円)

	2025年度 上期実績 (修正再表示)	2026年度 上期実績	増減 金額	増減 率
売上収益	1,024	**1,694**	+670	+65.4%
事業利益（①）	55	**104**	+49	+88.6%
事業利益率	5.4%	**6.1%**	+0.8%	–
減損損失	▲8	**▲60**	▲51	–
カーブアウト影響	0	**0**	–	–
その他特殊損益	2	**▲0**	▲2	–
非経常要因（②）	▲6	**▲60**	▲54	–
営業利益（①＋②）	49	**42**	▲7	▲15.2%
営業利益率	4.8%	**2.5%**	▲2.3%	–

増減要因

●ガス・機器　■設備　★歯科　◆コンシューマ・その他

	事業利益（①）主な要因・影響	
事業要因	[＋] ★歯科通販	：歯愛メディカルグループの新規連結効果
	■ガス消火設備	：電力関連施設、データセンター向けの受注好調
	■医療設備	：病院向けのリニューアル需要堅調
	★歯科材料	：デジタル機器・材料の販売拡大
	◆エアゾール	：受注回復、中東影響による駆け込み需要
	[▲] ●在宅医療	：在宅酸素療法(HOT)の競争激化によるメンテ・販売減
	◆衛生用品	：マスク等の販売伸び悩み
	◆注射針	：生産設備の不調による生産減
特殊要因	○特になし	
会計要因	[＋] ■ガス消火設備	：工事進行基準上の収益認識の見直し

	非経常要因（②）主な要因・影響	
減損損失	[▲] ★歯科通販	：のれん（市場金利の上昇影響）
	■海外医療設備	：のれん他（市場金利の上昇影響）
CO影響	○特になし	

*CO影響＝カーブアウト影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別　詳細情報　農業・食品

セグメント方針・戦略

1. 北海道農産品を軸とした高収益バリューチェーンの構築
2. 安定的な調達・流通・加工プラットフォームの強化
3. コストアップや消費トレンドに応じた価格適正化

2026年度 事業環境

- 農産物は豊作の見通しも、気候変動リスク含み
- ハム・デリカは原材料、包材、物流のコスト上昇が続く
- 飲料は製品価格上昇で消費マインドの低下を懸念

業績

(単位：億円)

	2025年度 上期実績 (修正再表示)	2026年度 上期実績	増減 金額	増減 率
売上収益	774	**686**	▲88	▲11.4%
事業利益（①）	47	**42**	▲5	▲10.6%
事業利益率	6.1%	**6.2%**	+0.1%	–
減損損失	▲31	**▲6**	+25	–
カーブアウト影響	1	**0**	▲0	▲60.6%
その他特殊損益	▲0	**2**	+3	–
非経常要因（②）	▲31	**▲4**	+27	–
営業利益（①＋②）	16	**39**	+22	+137.3%
営業利益率	2.1%	**5.6%**	+3.5%	–

増減要因

●アグリ　■フーズ　★飲料・その他

	事業利益（①）主な要因・影響
事業要因	[＋] ■ハム・デリカ　：高付加価値商品の販売強化、価格改定効果 ■海外野菜生産　：ブロッコリーの生産数量増加、原価改善取り組みの進展 [▲] ★飲料受託製造　：冷夏影響による野菜・果実飲料の消費需要の低迷 ●農業機械　：農家の生産減に伴う購入需要の低迷 ●国内野菜生産　：天候不順、促成栽培用炭酸ガス不足による収穫不足 ●農産品流通　：馬鈴薯・人参等が豊作も、供給過多による相場下落
特殊要因	○特になし
会計要因	○特になし

	非経常要因（②）主な要因・影響
減損損失	[▲] ■海外冷凍野菜：固定資産（市場金利の上昇影響）
CO影響	[▲] ■フーズ　：スイーツ事業の撤退

*CO影響＝カーブアウト影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別　詳細情報

その他

セグメント方針・戦略

1. 塩・マグネシアの価格施策を軸とした収益力強化
2. 物流の機動的な受託料金の適正化
3. 電力の安定稼働維持、原価・調達コストの徹底管理

2026年度 事業環境

- 塩・マグネシアは国内・海外での競合関係が激化
- 物流は人件費等の上昇やドライバー不足が続く
- 電力は為替影響等による燃料調達リスクが顕著に

業績

*「専門商社」を産業セグメントへ移換済

(単位：億円)	2025年度 上期実績 (修正再表示)	2026年度 上期実績	増減 金額	増減 率
売上収益	804	**785**	▲19	▲2.4%
事業利益（①）	47	**67**	+20	+42.7%
事業利益率	5.8%	**8.5%**	+2.7%	–
減損損失	▲27	**▲12**	+15	–
カーブアウト影響	0	**0**	–	–
その他特殊損益	▲8	**0**	+8	–
非経常要因（②）	▲35	**▲12**	+23	–
営業利益（①＋②）	12	**55**	+43	+345.4%
営業利益率	1.5%	**7.0%**	+5.5%	–

増減要因

●塩　■マグネシア　★物流　◆電力・その他

	事業利益（①）主な要因・影響
事業要因	[＋] ★食品物流　：取扱数量拡大、受託料金の適正化 ★医療物流　：受託料金の適正化 ●業務用塩　：価格マネジメントの進展・効果 ■マグネシア　：半導体関連向けの電融品の販売増 [▲] ◆バイオマス発電　：円安影響等に伴う木質ペレット燃料の調達コストアップ ◆バイオマス発電　：出力抑制、計画外停止増 ■マグネシア　：高炉メーカー向けの電磁鋼板品の販売減
特殊要因	○特になし
会計要因	○特になし

	非経常要因（②）主な要因・影響
減損損失	[▲] ★物流関連　：のれん（市場金利の上昇影響）
CO影響	○特になし

*CO影響＝カーブアウト影響

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

会社概要及び事業概要

（2026年9月30日現在）

商号	エア・ウォーター株式会社
商号（英訳名）	AIR WATER INC.
設立	1929年9月24日
代表者	代表取締役 社長執行役員　千歳 喜弘
本社所在地	大阪市北区大深町5番54号 グラングリーン大阪南館パークタワー13階
資本金	55,855百万円
売上収益 **(2025年度実績)**	連結　10,668億円 単体　1,434億円
従業員数 **(2026年3月末)**	連結　21,824名 単体　685名
グループ会社数	249社（連結子会社196社）
事業セグメント **(2026年度開示)**	■産業　（旧デジタル＆インダストリー〈D&I〉） ■エネルギー　（旧エネルギーソリューション〈ES〉） ■医療　（旧ヘルス＆セーフティー〈H&S〉） ■農業・食品　（旧アグリ＆フーズ〈A&F〉） ■その他　（旧その他の事業〈その他〉）

証券コード	4088
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場、札幌証券取引所
発行済株式総数	229,755,057株
株主数	34,947名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで

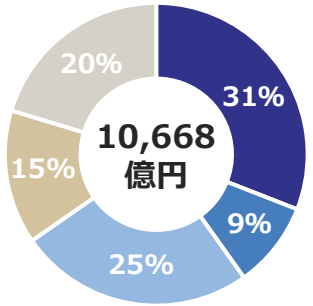
パーパス／経営理念

地球の恵みを、社会の望みに。

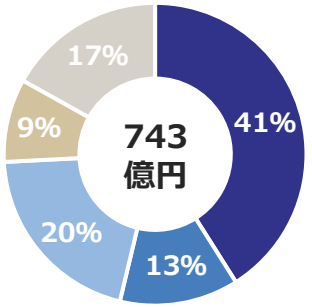
創業者精神を持って
空気、水、そして地球にかかわる
事業の創造と発展に、英知を結集する

参考：グループ連結業績ほか（2025年度実績／旧セグメント表示）

売上収益



事業利益



■旧D&I ■旧ES ■旧H&S ■旧A&F ■旧その他

（連結業績概要）

売上高	10,668
事業利益	743
事業利益率	7.0%
営業利益	▲369
営業利益率	–
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲540
EPS	–

（単位：億円）

*グラフ内のパーセント表示は事業セグメント部分の利益構成比

*事業利益：営業利益－非経常要因

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

連結対象会社数

	2026年 3月末	2026年 9月末	増減
連結子会社	206社	**196社**	▲10社
持分法適用会社	53社	**53社**	増減なし
合計	259社	**249社**	▲10社

【2026年度2Q　主な増減要因等】

当第2四半期累計期間においては、主な新規連結会社はございません。

なお、以下のとおりに株式譲渡または吸収合併等を実施したことで、連結子会社数が減少しております。

①プレシア及びヨネザワ製菓をはじめとするスイーツ事業会社の株式譲渡

②一部地域事業会社の吸収合併及び株式譲渡

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別事業内容（2026年度2Q開示基準）

	事業カテゴリー	主な事業内容
産業	**産業ガス**	産業ガス（ローリー/シリンダー/SOG/鉄鋼向けオンサイト）、機器・装置・工事
	エレクトロニクス	半導体・エレクトロニクス向けガス、特殊ガス、特殊ケミカル、機器・装置・工事、電子材料卸、機能材料
	海外	産業ガス（インド・北米・アジア）、高出力UPS（無停電電源装置、非常用発電機）
エネルギー	**LPガス・灯油**	LPガス・灯油、LPガス関連機器・工事、住宅・エネルギー関連製品
	LNG　ほか	LNG、LNG関連機器・工事、液化バイオメタン、低炭素・脱炭素関連
医療	**ガス・機器**	医療用ガス、医療機器、在宅医療
	設備	医療設備、ガス消火設備、呼吸器
	歯科	歯科材料、歯科機器、歯科通販
	コンシューマ　ほか	エアゾール・化粧品（OEM・ODM受託製造）、注射針、衛生用品、SPD、受託滅菌、循環器卸
農業・食品	**アグリ**	農産品流通・加工、国内野菜生産、農機具・農業機械
	フーズ	ハム・デリカ、海外野菜生産
	飲料　ほか	野菜・果実系飲料（OEM受託製造）、青果小売
その他	**海水**	塩、環境商材、木質バイオマス発電（兵庫県赤穂市、福岡県苅田町）、マグネシア
	物流	一般物流、食品物流、医療・環境物流、車体架装
	電力　ほか	木質バイオマス発電（福島県いわき市）

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

セグメント別季節性要因（2026年度2Q開示基準）

	事業カテゴリー	［＋］高需要となる商材・時期	［▲］低需要となる商材・時期
産業	産業ガス	炭酸ガス・ドライアイス：夏季（2Q）が最大需要期	－
	エレクトロニクス	－	－
	海外	－	－
エネルギー	LPガス・灯油	LPガス・灯油：冬季（3～4Q）が最大需要期	LPガス・灯油：夏季（2Q）に消費需要が大幅低下
	LNG　ほか	－	－
医療	ガス・機器	医療用酸素：冬季（3～4Q）に需要が増加傾向	－
	設備	各種工事：年度末（4Q）に納期が集中	－
	歯科	－	－
	コンシューマ　ほか	衛生用品：冬季や花粉期（3～4Q）にマスク等が需要増	－
農業・食品	アグリ	農産品：農繁期（2～3Q）に収穫・選果・出荷が集中	農産品：閑散期（4Q）は貯蔵農産品の出荷となり供給減
	フーズ	ハム・デリカ：ギフトシーズン（2～3Q）が最大需要期	－
	飲料　ほか	飲料：夏季（2Q）が最大需要期	飲料：冬季（4Q）に消費需要が低下
その他	海水	業務用塩：冬季（3～4Q）に道路用融雪塩が需要増	－
	物流	一般物流：農繁期（2～3Q）に輸送数量が増加	物流全般：冬季（4Q）に降雪影響で稼働効率が低下
	電力　ほか	－	－

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

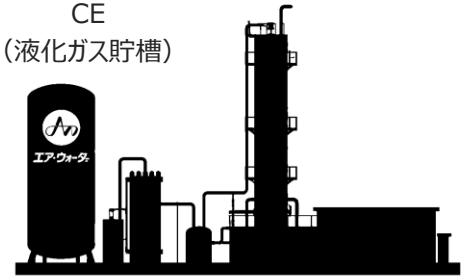
産業ガスの供給モデル

地球の恵みを、社会の望みに。
エア・ウォーター

エアセパレートガス

空気分離装置

CE
（液化ガス貯槽）



オンサイトガス／SOGプラント

外販用ガス



液化ガスローリー

外販用ガス



充填所



トラック

オンサイト供給（ガス）

ローリー供給（液）

シリンダー供給（液・ガス）

主なガス供給先

オンサイト（数量大）

- 鉄鋼（高炉・電炉）
- 半導体エレクトロニクス
- 化学
- 製紙

ローリー（数量中）
シリンダー（数量小）

- 鉄鋼（電炉）
- 半導体エレクトロニクス
- 化学
- 非鉄金属
- 自動車
- 造船
- 建機 産業機械
- 医療 在宅医療

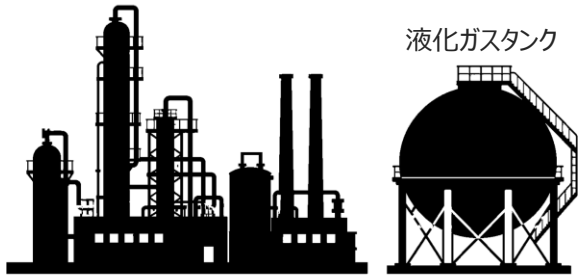
ローリー供給（液）

シリンダー供給（液・ガス）

炭酸ガス・水素など

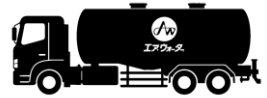
お客様工場（原料ガス調達先）

液化ガスタンク



炭酸ガス・水素プラント

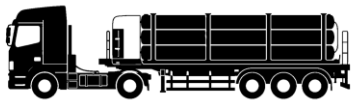
外販用ガス



液化ガスローリー

外販用ガス





トラック／ガストレーラ



充填所

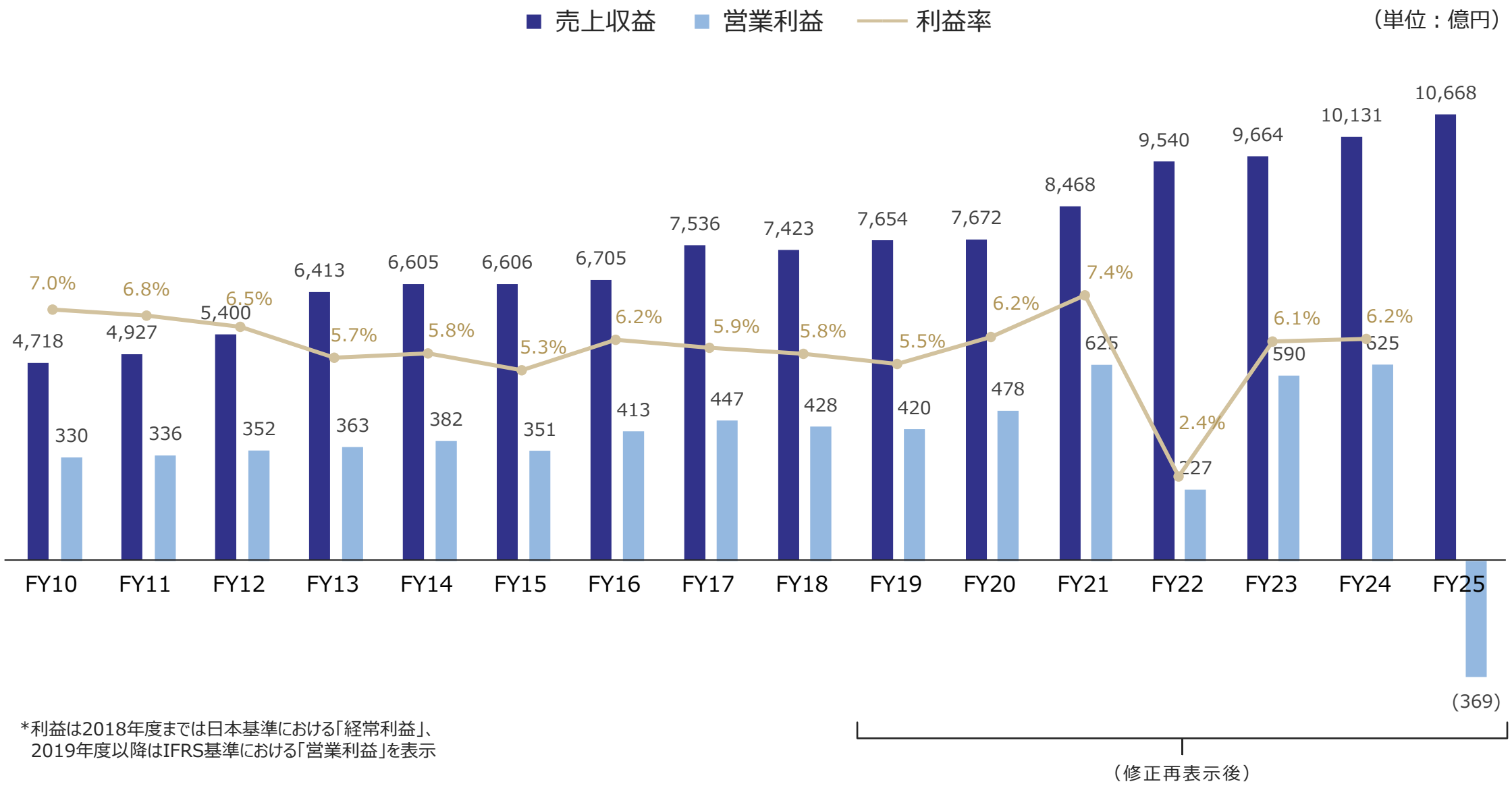
© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

過去5ヵ年　連結業績の推移（修正再表示後）

（単位：億円）	2021年度 実績 （修正再表示後）	2022年度 実績 （修正再表示後）	2023年度 実績 （修正再表示後）	2024年度 実績 （修正再表示後）	2025年度 実績 （修正再表示後）
売上収益	8,468	9,540	9,664	10,131	10,668
営業利益	625	227	590	625	▲369
親会社所有者帰属利益	417	93	366	399	▲540
営業利益率	7.4%	2.4%	6.1%	6.2%	–
営業キャッシュ・フロー(①)	755	587	787	927	1,076
投資キャッシュ・フロー(②)	▲575	▲746	▲955	▲603	▲886
フリーキャッシュ・フロー（①＋②）	179	▲159	▲168	325	190
財務キャッシュ・フロー	▲68	223	127	▲283	▲57
現金及び現金同等物の期末残高	627	707	674	732	871

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

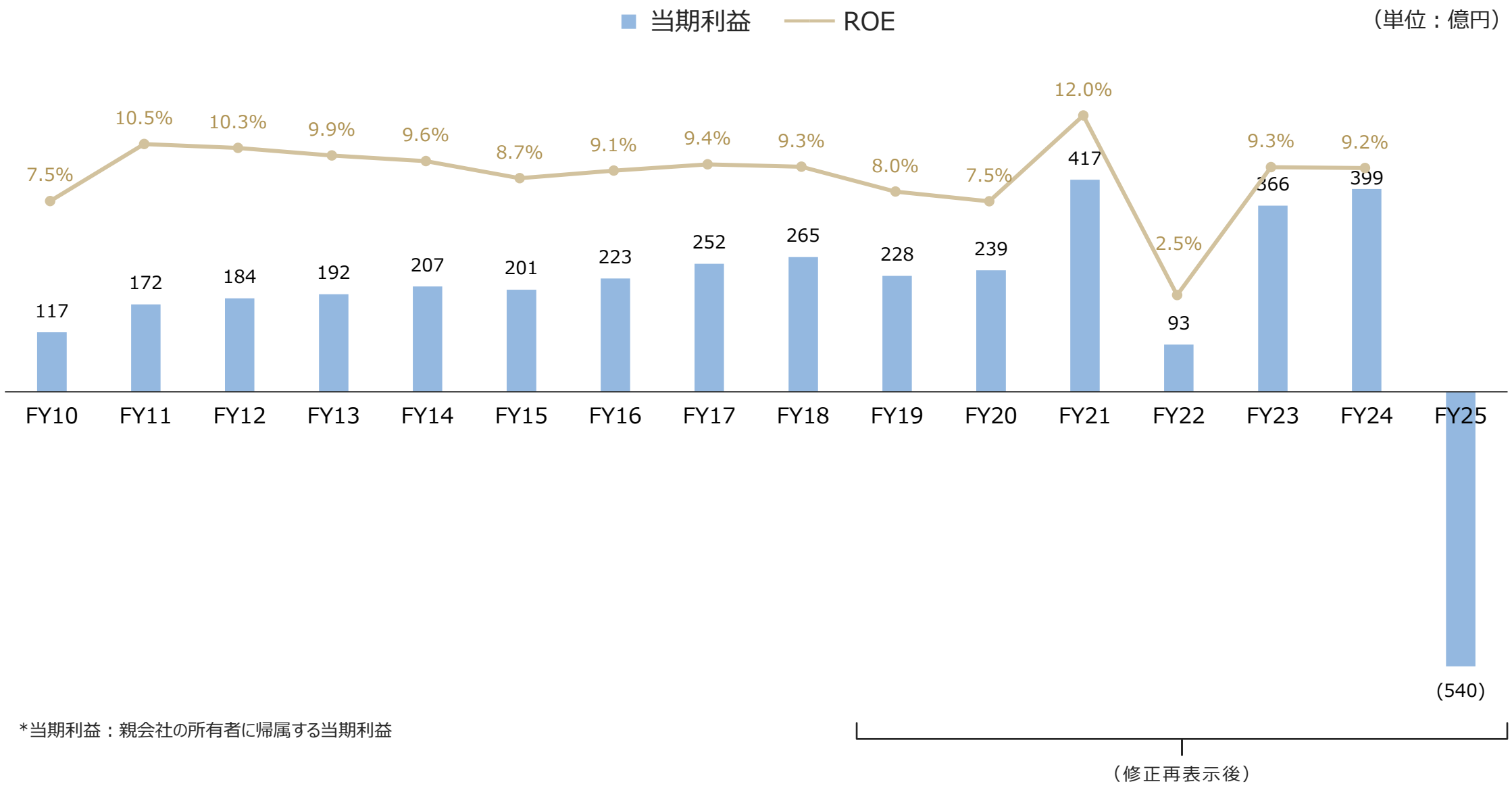
売上収益・営業利益の推移（修正再表示後）



*利益は2018年度までは日本基準における「経常利益」、
2019年度以降はIFRS基準における「営業利益」を表示

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

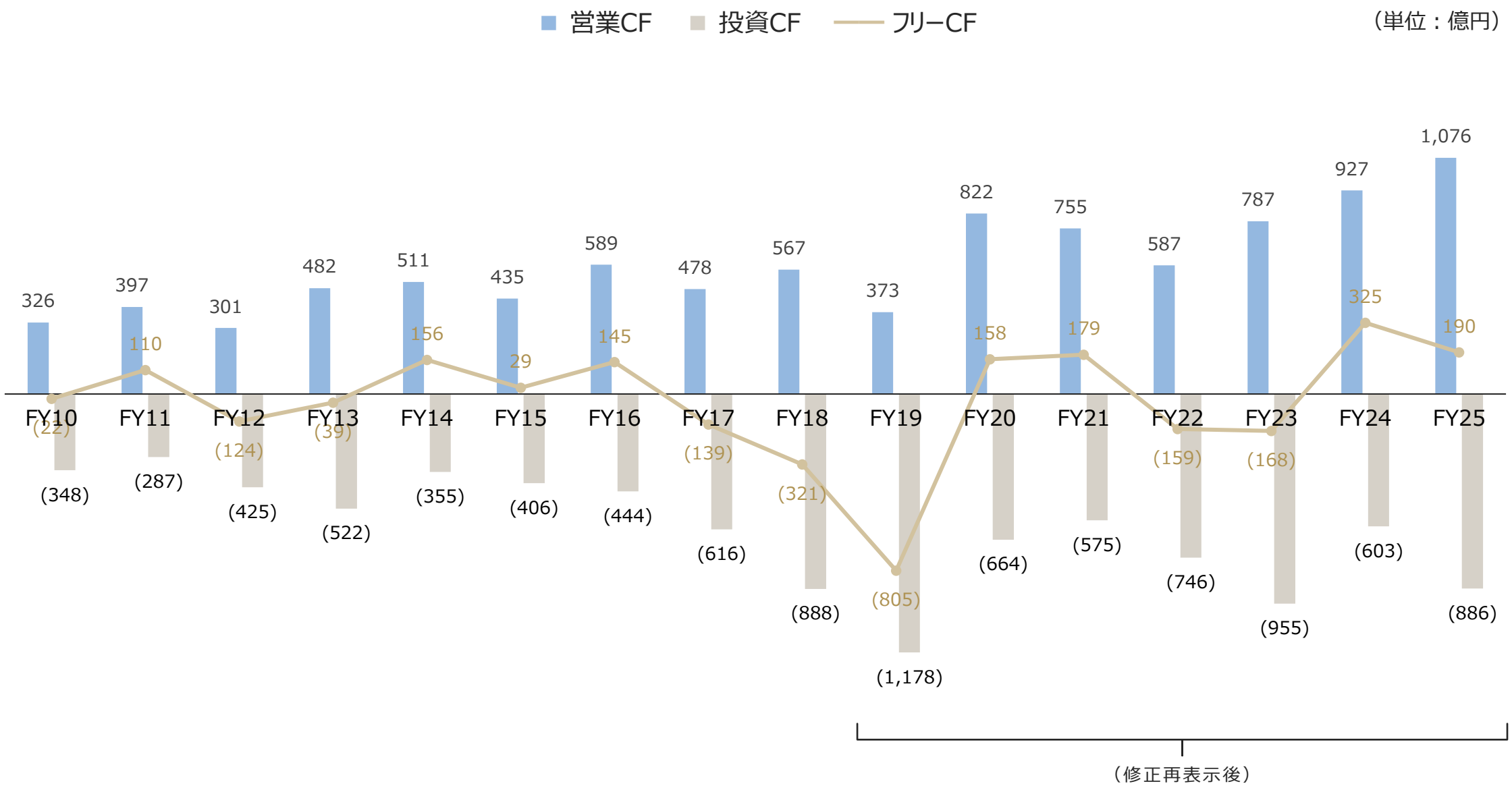
当期利益･ROEの推移（修正再表示後）



*当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益

© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの推移（修正再表示後）



© 2026 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

地球の恵みを、社会の望みに。

エア・ウォーター